

節電効果の算出根拠

本サイトでは、節電によって削減できたエネルギー量を、データに基づき、電気料金などの金額に換算しています。さらにそのエネルギー量を「CO₂削減量（二酸化炭素換算）」で示しています。家庭での節電が節約だけにとどまらず、省資源対策・地球温暖化の防止につながっていることを、数字で示しました。

※電気・ガス等の料金単価は、時期や地域により異なります。また、市況により適宜改訂されることがあります。最新の料金単価を必要とする場合は、現在、契約しているエネルギー供給事業者などへお問い合わせください。

※CO₂排出係数は、地域・事業者・時期により異なりますので、ここでは、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」（環境省）の係数を使用しています。特に電気についてはエネルギー供給事業者によって大きく異なることがあります。

■金額換算係数

◎電気

31 円/kWh

[令和 4 年 7 月公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価（税込）]

◎ガス

162 円/m³

[平成 29 年版 ガス事業便覧 平成 28 年度実績 供給約款 料金平均(合計平均)を 45MJ に換算 小数点第一位を切り捨て（税込）]

◎水道

260 円/m³（水道料金 136 円/m³・下水道使用料 124 円/m³）

[一般社団法人 日本電機工業会調べ（総務省小売物価統計調査平成 30 年度実績（合計平均）に基づき 1m³に換算。小数点第一位を切り捨て（税込））]

■CO₂排出係数

◎電気

0.488kgCO₂/kWh

[電気事業者別排出係数令和 2 年提出用「代替値」]

◎ガス

2.244kgCO₂/m³

[地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（第 3 条）、ガス事業便覧（東京ガス等の 13A ガス発熱量）より]

暖房期間 5.5 か月 (10月28日～4月14日) 169日

冷房期間 3.6 か月 (6月2日～9月21日) 112日

中間期 84日

「省エネポータルサイト 省エネ効果の算出根拠」(資源エネルギー庁)
(https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/howto/index.html#konkyo) を加工して作成